

# 開発強化へ第2拠点

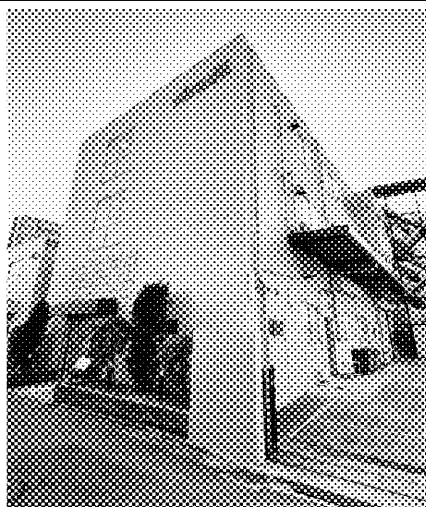
## 錠剤検査機海外展開

### 第一実業 ビスウィル

第一実業ビスウィル（大阪府吹田市、垣内省吾社長）は、海外展開に向けた開発を加速するため、本社近くに第二事業所（同市）を開設した。土地と建屋は賃貸だが、改装費用などに数億円を投じた。開発部門を中心に約50人を本社から移管する。同時に、今後も人員を強化する。同社は錠剤の外観検査システムで国内トップ。欧州やインド、中国など海外展開を進めるため、現地対応の製品開発などに力を入れる。

第二事業所には開発部の画像処理システムの一部が本社から移った。主にソフトウェアを開発する医薬システ

△開発グループは本社が約1000平方メートルに残った。新拠点は延べ床面積が約1000平方メートル。手狭だった本社に同事業所が加わることで約



開発強化に向けて新設した第二事業所

1・3倍の広さとなり、開発や最終組み立てなどの能力増強への対応が可能となる。

第一実業ビスウィルは2022年に海外専用機を開発するなど海外事業を強化している。ただ、国や地域によって求められる医薬品や検査態勢が異なるため、欧州や中国などに向けそれぞれ戦略機種を開発中。欧州向けは年内にも第1弾製品を投入する予定で、開発力の強化が課題となっていた。

同事業所を統括する安藤隆之取締役は「開発には力を入れる。今すぐは難しいが、人員のこ入れをしていきたい」と意気込む。